

説明の仕方の工夫を見つけ、話し合おう 「天気を予想する」

日時：10月12日（金）第6校時
 学年：第5学年 23名
 指導者：田中 涼子

糸崎小学校で育てようとする資質や能力及び態度

* は今年度の重点項目

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| ①課題発見・解決能力 | ②思考力・判断力・表現力 | ③コミュニケーション能力 |
| ④主体性・積極性 | ⑤回復力 | ⑥協調性・柔軟性 |
| | | ⑦自らへの自信 |

1 単元について

この単元は

児童は

小学校学習指導要領の国語第5学年の内容C読むこと、主に以下の事項を受けて設定している。

ウ 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

本教材は、3つの「問い」と「答え」で構成されている。文章での説明を補う形で図表やグラフ、写真が多く用いられており、資料の効果から筆者の意図や主張を読み取ることで、教材への理解を深めることができる。また、本教材の学習後に「グラフや表を用いて書こう」という学習単元があり、本単元での学びが生かせる単元配列になっている。

1学期に「見立てる」「生き物は円柱形」で、序論・本論・結論という構成の説明文の学習をしている。文章の構成や表現の工夫に着目し、筆者の考えの進め方に対して、それぞれ自分なりの考えを持つことができた。しかし、児童の能力差は大きく、筆者の考えを正しく読み取ることが難しい児童もいる。全体的に読書を好む児童が多いが、語彙が少ないため、長文の教材を扱う際は必ず、分からない語句の意味調べの時間を確保し、一人読みの時間を設けている。

また、自信のなさから、ペアやグループの活動で発言したり、積極的に行動したりすることが難しい児童もいる。

指導の手立て

本単元の指導に当たっては、「天気を予想する」の本文をグラフや図表と対応させながら読み取り、次単元の「グラフや表を用いて書こう」に向けて、自分の考えに説得力を持たせるための論の構成や説明の仕方、資料の効果的活用への理解を図りたい。そのために、次の3点の手立てを重視する。

- ①質問づくりを用いた導入を行う。次単元の言語活動のゴールを明確にした上で、導入で、筆者の論の構成や説明の仕方、資料の活用に関する質問づくりを行うことで、児童に学習の目的意識を持たせ、主体的に学習に向かうことができるよう工夫する。また、実態に応じてペア・グループでの活動とする。
- ②ピラミッドチャートを活用する。どのような資料をどのようなポイントで用いることで、主張に説得力を持たせることができるかを考えながら、本文を読み取ったり、論の構成をしたりしていくために、ピラミッドチャートを活用し、筆者の主張と資料、重要な語や文を構造化する手助けとする。
- ③社会科の学習と連携する。次単元の言語活動のゴールを社会科の学習「くらしを支える自動車工業」と関連付けたものにするすることで、双方の学習効果を高めたい。

2 単元目標と評価規準

観点	目標	評価規準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・思考に関わる語句の量を増やし、語句と語句との関係について理解することができる。(語彙) ・文の中での語句の係り方や文と文との接続の関係について理解することができる。(文や文章) ①④ 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考に関わる文末表現(～だろう、～と考える等)や接続詞に着目し、語彙を増やし、言葉の使い方に対する感覚を豊かにしている。 ・重要な語や文に着目し、印をしたり、ノートやワークシートに書き抜いたりすることを通して、文の前後を意識して読み取っている。
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・文章と図表などを結びつけるなどして、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。(精査・解釈) ・文章から読み取った自分の考えをまとめ、グループや学級で共有することができる。(共有) ④⑤ 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が自分の考えをより適切に伝えるために、どのように論を進めているか、そのような理由や事例を用いることで説得力を高めようとしているか、自分の考えを持っている。 ・文章から理解したことについて、既知の知識や理解した内容と結びつけて自分の考えを表現している。

学びに向かう力・人間性等	・進んで本文を読み、論の進め方や資料の効果について自分の意見を伝え合おうとする。④⑦	・ピラミッドチャートの作成やグループでの話し合いなどの活動を進んで行き、自分の意見を伝え合おうとしている。
--------------	--	---

3 指導計画とルーブリック (本時 5/6 ※本単元国語6時間+社会1時間, 次単元国語6時間)

時	学習活動	ルーブリック		資質	思考スキル (思考ツール)	単元を貫く言語活動
		S	A			
社会科	社会見学でもらった車のリーフレット等を見て、課題をつかむ。	Aに加えて、分かりやすい説明の文章を書くための課題をつかんでいる。	車のリーフレット等の説明を読み、長所と短所に気付いている。	④	評価する (PMIシート)	次単元「おすすめの水を紹介しよう」 (社会科との関連)
1	次単元での最終目標を「おすすめの水の紹介」に設定し、学習計画を立てる。 ※質問づくりを行い、文章の書き方の工夫に関する質問を【論の構成】【説明の仕方】【資料の活用】等に分類する。	Aに加えて、課題解決の方法を考えたり、学習計画に提案をしたりして、意欲的に取り組んでいる。	「おすすめの水の紹介」に対する課題をもち、学習計画について理解している。	① ④	関連づける (コンセプトマップ)	
2	【論の構成】 本文全体を読み、文章の構成をつかむ。	Aに加えて、作品の全体構成をつかみ、重要な語や文に見当をつけている。	3つの問いと答えという構成を読み取っている。	④	構造化する (ピラミッドチャート)	
3	【説明の仕方】 文末表現や重要な語や文に着目して本文を読み、説明の仕方の工夫に気付く。	Aに加えて、文末表現や重要な語や文に着目した根拠や理由を示して読み取っている。	文末表現や重要な語や文に着目して読み取っている。	⑤		
4	【資料の活用】① 本文と資料を対応させ、筆者の主張を読み取る。	Aに加えて、筆者の主張や資料の意図を説明している。	本文と資料を対応させ、重要な語や文が分かっている。	① ④	構造化する (ピラミッドチャート)	
5 本時	【資料の活用】② 最後の資料を予想し、意見を交流する。	Aに加えて、筆者の主張に説得力をもたせるための工夫について考えることができる。	重要な語や文をもとに、資料を予想することができる。	① ⑤	構造化する (ピラミッドチャート)	
6	文章の書き方の工夫を3つの観点【論の構成】【説明の仕方】【資料の活用】からまとめ、例文を評価する。	Aに加えて、例文に対する改善点やその具体策を提案している。	学習した3つの観点から例文を評価し、長所と短所に気付いている。	⑦	評価する (PMIシート)	

十月十二日（金） 5校時

三原市立系崎小学校

5年1組

指導者 田中涼子

国語科「天気を予想する」

第5時

授業構成図

本時のねらい

筆者の主張や論の進め方をとらえ、重要な語や文と結びつく資料を予想することができる。
(自己理解・自己管理能力★)

目指す子どもの姿

S 重要な語や文をもとに資料を予想し、筆者の主張に説得力をもたせるための工夫について考えることができる。
A 重要な語や文をもとに、資料を予想することができる。

振り返り場面

Aだと判断した子どもの姿
重要な語や文を選んだ理由や資料を予想した経緯を説明することができない。

深い学びの視点

- ① 既存知識を関連付けて考え、一階層上の知識を得る。
- ② 獲得した知識を汎用的に活用する。
- ③ 学習の目的を、より高い目的に価値づける。

見通しや実行方法を発想する場面

④ 筆者の主張、重要な語や文をもとに資料を予想する。
T 筆者の主張や論の進め方に注目して、重要な語や文を整理しましょう。

C (筆者の主張に説得力をもたせる資料を予想する)

⑤ グループで交流する。★
C わたしは「富士山にかさがかかると雨」ということわざが大事だと思っているので必要な資料は「富士山にかさ雲がかかった写真」だと思います。

C ぼくは「空を見、風を感じることを大切にしたい」というところが大事だと思うので、ここには空や風の写真や図が必要だと思います。

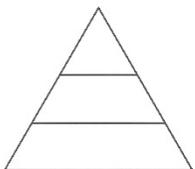
⑥ 学級で交流する。
C ぼくたちの班では、二つの手立てに関わる写真ではないかという意見ができました。天気に変化しているところの写真や雲の写真だと思います。

⑦ 教科書の写真を確認する。
⑧ 学習の振り返りをする。
T 教科書を開いてみましょう。
C (教科書の資料を確認する)
T 今日の自己評価をしましょう。

C わたしはSだと思います。語や文から資料を予想して、友達に理由を説明することができたからです。

対象と既存の知識とを関連づけ、対象が生じる原因を類推

思考スキル「構造化」
↓
思考ツール「ピラミッドチャート」



課題を見出す場面

① 既習事項を確認する。
T 筆者の主張は何ですか。
C 最後の一文です。
T 主張に説得力を持たせるためどんな工夫がありましたか。
C 序論と本論は、「問い」と「答え」を繰り返す構成になっていました。

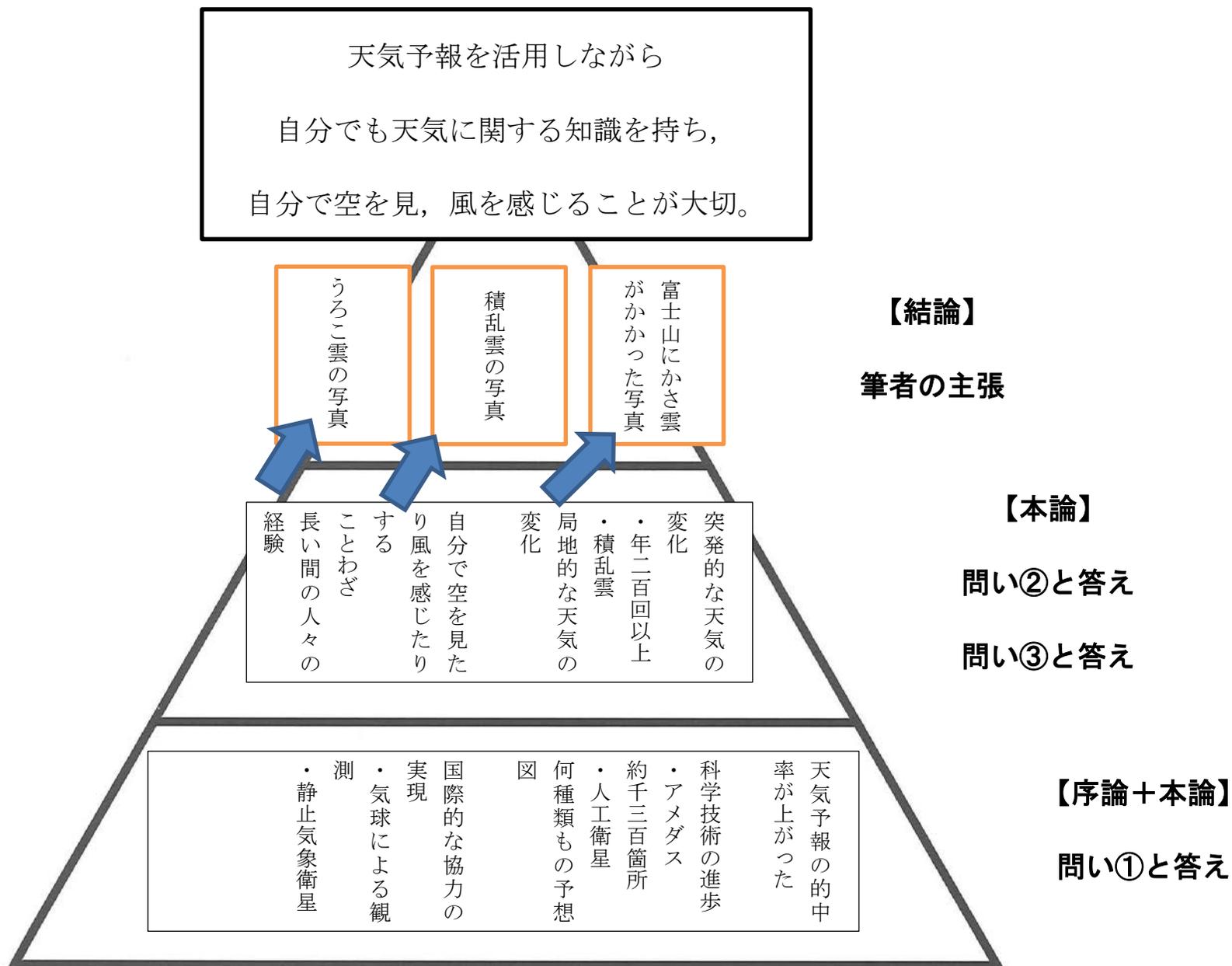
C「～のです」「～考えています」など文末表現の工夫がありました。

C 資料もたくさん出ています。
T 今日、筆者の主張を読み手に納得してもらったための資料を予想します。

② 学習課題を立てる。
筆者の主張や論の進め方をとらえ、最後の資料を予想する。
T 資料はどこなところに使われているの？
C 言葉だけでは難しいところや筆者にとって大事なところ。◆あらかじめ印をつけておいた重要な語や文を中心に資料の活用を予想する見通しを持たせる。

③ ルーブリックの設定をする。
T この時間のAとSはどのように設定しますか。
C Aは、重要な語や文から資料の予想ができたらいと思います。
T Sはどうしますか？
C 重要な語や文を使って資料を選んだ理由が説明できる。
C 資料の細部も予想できる。
T S目指して頑張ろう。

対象と既存の知識との「ズレ」を認識



天気予報を活用しながら
自分でも天気に関する知識を持ち、
自分で空を見、風を感じる事が大切。

うろこ雲の写真

積乱雲の写真

富士山にかさ雲
がかかった写真

【結論】
筆者の主張

突発的な天気の変化
富士山にかさ雲がかかった写真
・年二百回以上
・積乱雲
局地的な天気の変化
自分で空を見たり風を感じたりすることわざ
長い間の人々の経験

【本論】
問い②と答え
問い③と答え

天気予報の的中率が上がった
科学技術の進歩
・アメダス
約千三百箇所
・人工衛星
何種類もの予想
国際的な協力の実現
・気球による観測
・静止気象衛星

【序論+本論】
問い①と答え